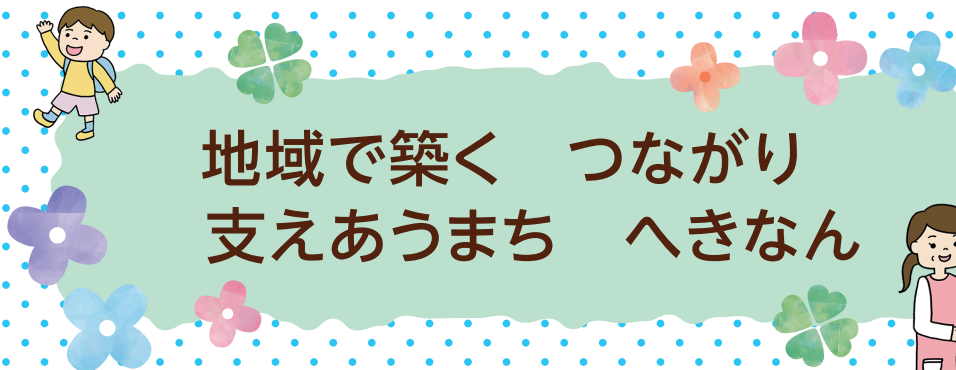




# へきなん地域福祉 ハッピープラン

第3次碧南市地域福祉計画  
第5次碧南市社会福祉協議会地域福祉活動計画

【令和3年度～令和8年度】



令和3年3月  
碧南市  
碧南市社会福祉協議会



## 誰もが参加できる地域づくりのために



あなたは幸せでしょうか？

幸せってどんな場面で見えますか？

福祉は「ふくし」へと広がっています。

「ふくし」・・・それは「ふだんの 暮らしの しあわせ」です。

私たちは誰もが、いろいろな場面で「しあわせ」だと感じる暮らしを続けたいと思っています。

「地域福祉」はそんな暮らしの実現をめざしていきます。

そして、この地域福祉計画「へきなん地域福祉ハッピープラン」は、碧南市という地域がめざしたい方向、碧南市の人々がめざしたい暮らしのニーズをしっかりとみつけ、じっくり検討し、碧南市のしあわせの実現のためにつくられた計画です。

近年、生活困窮者問題をはじめ、ニート、ゴミ屋敷など、福祉課題や生活課題が多様化・複雑化・深刻化しています。これらの要因として社会的孤立や排除が指摘されています。また2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためにふつうの暮らしが成り立たない経験、繋がりがたくても繋がってはいけないという辛い体験もしましたし、現在も続いています。

誰もが参加できる地域づくりは、これからの「しあわせ」に欠かせません。

この碧南という土地で、人々がお互いに包み込むように暮らしていく先に、共に生きる社会の実現に近づける道があるでしょう。

そのためにも、「地域の課題」を知ること、「地域の課題」と対話することが大切です。その学び合いなくしては「地域」で共に生きていくことはとても難しいのです。また、地域に生きる人としての絶えざる努力と学びなくしては、地域は成長できないのです。

制度の枠では支えられない課題が沢山表出する「地域」という場では、「ひと」が「ひと」に出会い、知り合い、支え合うことが大切なのです。それは、「地域の課題」を「自分ごととしてとらえる」ことです。

「地域」を見つめ、一人一人の尊厳が守られることで、豊かな「福祉観」を育む。そんなことを大切にできる、「まち」づくりこそが地域福祉なのです。

## はじめに

碧南市では、平成27年度に[へきなん地域福祉ハッピープラン(第2次碧南市地域福祉計画・第4次碧南市社会福祉協議会地域福祉活動計画)]を策定し、“地域で築く つながり 支えあうまち へきなん”を基本理念に掲げ、高齢者・障害者・子どもなど地域を構成しているすべての住民において、共に生き相互に支え合うことができる地域、地域の出  
来事をまず自分事として考えることのできる地域の構築を目指し、社会福祉協議会との強い連携のもと、総合的な福祉のまちづくりを推進してまいりました。



しかしながら、近年では、核家族化や少子高齢化の急速な進展、引きこもりや自殺対策など、従来の分野ごとの福祉制度では対応できない課題が表面化、更には感染症への対策という新たな課題にも直面しているなか、分野横断的に行政や専門機関が連携し、課題を抱えている人に寄り添い、支えていくことはもちろん、地域で活動されている団体や住民同士のつながりを深め、地域や身近な隣近所で互いに支え合っていくことのできる地域づくりが必要となってきています。

このため、本市の地域福祉の推進におけるこれまでの取り組みの成果を踏まえ、必要な見直しを行い、“地域で築く つながり 支えあうまち へきなん”を引き続き基本理念として継承した[へきなん地域福祉ハッピープラン(第3次碧南市地域福祉計画・第5次碧南市社会福祉協議会地域福祉活動計画)]を策定いたしました。

この計画は、市と社会福祉協議会の協働による地域福祉推進のため、[地域福祉計画]と[地域福祉活動計画]を一体的に策定しており、“福祉の意識の醸成と担い手の確保・育成”、“地域の支え合いの仕組みづくり”、“安心・安全に暮らせる地域づくり”の3つの基本目標を定めるとともに、市内6地区における重点的な目標などを定め、地域福祉をより効果的に推進してまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたりまして、熱心にご協議を賜りました碧南市地域福祉計画策定委員会の皆様をはじめ、市内6地区で開催しました地域福祉推進会議にご出席いただきました市民の皆様、アンケート調査にご協力いただきました市民の皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

碧南市長 禰 宜田政信

## はじめに

碧南市社会福祉協議会では、平成27年度に、地域福祉の推進を目的として「へきなん地域福祉ハッピープラン」を行政と一体的に策定し、相互に支え合うことのできる地域を目指すため、地域における福祉・保健医療を始めとする関係機関・各種団体及び地域住民の皆様との協働・連携を図り、地域の課題について話し合いを重ねてまいりました。このような経緯により、地域の行事や施設などを活用した取り組み、さらに地域での見守り体制の検討などの新たな活動がうまれてきました。



その間、様々な社会情勢の変化、公的制度では対応できない福祉ニーズの複雑化、複合化などにより、より一層の地域福祉の充実が必要とされる社会を背景に、平成29年に社会福祉法が改正され「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念などが提唱されました。

本年、現計画の期間満了による改定にあたり、地域福祉の中核を担う役割を果たすべく、当会の専門性や関係機関とのつながりを活かし、地域福祉をより効果的に推進するため、引き続き、“地域で築く つながり 支えあうまち へきなん”を基本理念に「へきなん地域福祉ハッピープラン（第3次碧南市地域福祉計画・第5次碧南市社会福祉協議会地域福祉活動計画）」を策定いたしました。今後も行政との協働・連携を図り、地域住民や地域活動をする団体の皆様と共に、3つの基本目標と重点施策、また「支え合うことのできる地域づくり」に向け、地区別計画を今後6年間にわたり推進して参ります。

そして、本計画の実効性を高めるため、進捗管理による見直しや改善を行って参りますので、地域福祉に関係するあらゆる方面の方々には、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

結びに、この計画を策定するにあたりご尽力いただきました地域福祉計画策定委員会、地域福祉推進会議にご参加頂きました地域の方々及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

社会福祉法人 碧南市社会福祉協議会

会長 杉浦 邦俊